



岐阜県本部だより

japanese government approved non-profit organization(npo) japan karate syotorenmei HP : <http://www.fsinet.or.jp/~jks-gifu/>
発行：NPO法人日本空手松涛連盟岐阜県本部 発行責任者：岐阜県本部広報部 吉村健一
岐阜県岐阜市森東96番地 tel(058)・229-6066 岐阜県瑞穂市別府 1214 tel/fax(058)326-5512

初夢も

胸に輝く

金メダル

長剛



真っ白な帯をやつと自分で結べるようになった幼い子に問いかけた。今年の目標は？「金メダル！」返ってくる返事の何と早い事か。金メダルまでの距離や時間などといった難しい事はさておき、まるで目の前にぶら下がっているかのように健気に輝いた目で、狙うのは金メダルと。その瞳には何の迷いも、躊躇いも、計算もなかった。

時を経て数々の負けや挫折を経験するうちに、目の前にぶら下がっていたはずの金メダルとの距離は少しずつ離れていった。どうしてあの頃のように即座に「金メダル！」と言い放てないのか。「あいつがいるからなあ・・・」思い浮かぶだけの色々な理由を並べてても、それが全て言い訳に他ならないという事はわかっている。埋まらない距離。届かない夢。それでも本当に自分が欲しいのは金メダル、それもわかっている。諦める勇気もない・・・ここに金メダルを手にした一人の選手がいる。彼女もまた幼少より事あるごとに「金メダル！」と言い続け、七夕には「世界チャンピオンになる！」と書かれた金色の短冊が毎年毎年、何年も何年も風に揺れていた。現実を見るよと鼻で笑う者をよそに、唯ひたすらに夢を追い続ける彼女に、やがてひとつの奇跡が起きた。それはまっすぐに夢を声に出し言い続け、我武者羅に努力する姿にかす者が次々と現れたのだ。声が枯れるまで応援してくれる者、的確なアドバイスしてくれる者、肩に手をおき慰めてくれる者、静かに見守ってくれる者、時に厳しい言葉を与えてくれる者、共に悩んでくれる者、手を引いてくれる者、背中を押してくれる者。頂点に向かって本気で努力する姿は、周りの人々の心を動かし、大きな力となってスパートをかけはじめた。それはまるで不動の岩戸を動かそうと一人で必死にもがく姿に共感した人々が、見るに見かねて力を貸してくれるように。やがてそれはズズズと動き出すと隙間から一寸の黄金の光が差し、世界一となった彼女の胸元で金色のメダルとなり燦然と輝いた。遠く届かないかもしれないと思っていた夢は、あの幼い頃のように本当は意外と近くにあったのかもしれない。たくさんの人に支えられながら、たくさんの人に夢を与えながら、たくさんさんの時間を費やし、たくさんさんの涙を拭い、一つの大きな夢を達成した。

あなたの叶えたい夢はどの方角にあるのか。そこから目を逸らさず、即座に立ち上がり、今やれることを今すぐやる。夢への一歩は、今が踏み出す時。

岐阜県空手道連盟 新理事長に大島省三師範が就任



平成27年、岐阜県空手道連盟新理事長に松涛連盟岐阜県岐中支部長の
大島省三師範が就任。岐阜県は平成24年岐阜国体を大成功のうちに終
え、心機一転、新たな門出を迎えた。就任から既に半年が経過し、その
辣腕ぶりは誰もが認めるところである。他の会派、流派とも足並みを揃
え、時代にあった新しい岐阜県連へと突き進む姿は正に雲散霧消。また、
岐阜県空手道連盟の歴史において我が松涛連盟から県連理事長が誕生
することは初であり、我々会員にとっても非常に意味深い事である。

岐阜県ではこの先、全国の高校生によるインターハイ、全国スポーツ
マスターズ大会など大きなイベントが待ち構えている。岐阜県内の空手
道を更に充実したものに導きながら、いつの日か岐阜県が日本の空手界
の中核となるべく大島新理事長に期待を寄せるとともに、会員の皆様の
更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

第43回全日本選手権大会 女子団体組手準優勝の快挙!



平成27年12月13日、日本武道館二階席の岐阜県応援団は
歓喜に酔いしれた。空手道大会最高峰の全日本選手権に於いて
女子団体組手過去最高位の準優勝の快挙を成し遂げた。
さらにそのメンバーは①五明真実子選手（西濃運輸／松涛横浜
北支部出身）②清家桜選手（近大・主将／岐中支部出身）③杉
田七瀬選手（近大／本巣支部出身）の全員が松涛連盟の選手で
構成されていたことも特記すべき点である。

決勝の京都戦は大将戦までもつれ込む激戦。惜敗こそしたが、
この大会に向けた選手強化とチーム作りが結果に繋がった。更
なる躍進の兆しが充分に感じられる大会であった。

本巣支部一濤塾 吉村涼句選手 第8回WKF世界大会優勝の快挙!



平成27年11月12～15日、インドネシアのジャカルタにて
第8回世界Jr.&カデット、U21空手道選手権大会が開催され
た。雷神 JAPAN と命名された日本チームは、7月にナショ
ナルチーム内で最終選考を行い、各階級に1名ずつ33名の選
手を派遣。Jr.の女子個人組手-48kg級の代表となった吉村
涼句（華頂女子高校／本巣支部）は、昨年のアジア大会（マ
レーシア）初戦負けの屈辱を晴らすべく、初戦から勇猛果敢
にポイント奪取。決勝（5回戦）はエジプトとの前回の世界

カデットチャンピオンとの対決となった。蹴りを得意とする吉村選手ではあるが「今は突きで勝ちたい」と練習に練
習を重ねた渾身の中段突きで優勝を決め、念願の世界チャンピオンを手にした。

山々の麓、田園風景広がるこの岐阜の地からも世界一はうまれた。ここから世界に繋がる道はある。今回、岐阜の
地で皆と共に育ってきた吉村選手がそれを実証したことは、明日を担う岐阜の少年少女の一突き一蹴りにも大きな影
響を与えたに違いない。尚、Jr.&カデットに出場した他の松涛連盟在籍選手2名、田野恵都選手（東京皆思道場）形
優勝、出町さくら選手（青森県濤和館）組手3位入賞他、帝京大学空手道部員も輝かしい結果を残した。オリンピッ
クを見据え、松涛連盟選手の国内はもとより世界中での更なる活躍に期待したい。

<平成28年度 岐阜県本部主要行事予定> ※松涛連盟岐阜県本部関係分のみ

1月	23日	JKS 岐阜県本部理事会／新年会	7月	16～	JKS 全国空手道選手権大会 代々木体育館にて
2月	14日	JKS 岐阜県本部技術講習会 北方体育館にて	9月	22日	JKS 昇級・昇段審査会 アリーナにて
3月	19日	JKS 昇級・昇段審査会 アリーナにて	11月	20日	JKS 理事会
4月	29日	JKS 岐阜県空手道選手権大会	12月	18日	JKS 昇級審査会 メモリアルにて
6月	5日	JKS 昇級審査会 北部体育館にて	1月	28日	JKS 岐阜県本部理事会／新年会
6月	12日	JKS 東海北信越地区大会 メモリアルにて	2月	未定	JKS 岐阜県本部技術講習会 会場未定
7月	2日	JKS 一般二・三段審査会 総合体育館にて	3月	11日	JKS 昇級・昇段審査会 アリーナにて